

ブック

新学習指導要領では、小学校で「プログラミング教育」が開始されることになる。本書は「プログラミング教育の入門書」として有効である。

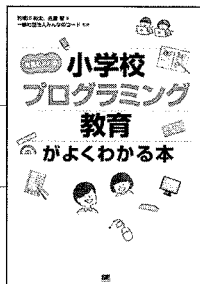
はじめに、文部科学省大杉住子教育課程企画室

長（当時）のインタビューが掲載されており、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る中でプログラミング教育がポイントになることを主張している。そして、第1章にはコンピュータを生かすためのプログラミングについて、第2章では小学校にプログラミング教育が導入された意図や、その効果について児童側と教師側から述べている。

第3・4章では実際に小学校現場で求められているプログラミング教育のポイント、及び、国語、算数、理科等の教科や外国語活動、総合的な学習の時間、

利根川裕太、佐藤智 著
一般社団法人みんなのコード 監修
1814円 翔泳社
☎ 03-5362-3800

先生のための小学校 プログラミング教育がよくわかる本



プログラミング特別活動の授業実践例も掲載されている。例えば「児童に英単語とプログラミングの動きをリンクさせるために使うプリントを用意し、プログラミングの中で、動詞の動きを可視化しながら英単語を覚えていくことができる」等を図や写真も盛り込んで分かりやすく解説している。第5章は、市政

と教育の足並みを揃え、地域人材の育成に向けて着実な歩みが続けている石川県加賀市や埼玉県戸田市と茨城県古河市の教育委員会、学校にプログラミング教育を広めるための取組みや保護者からの反応等の事例を東京都杉並区立立沼小学校と小金井市立前原小学校の校長先生が紹介している。

現場の先生方だけでなく、学校や地域でプログラミング教育ができる環境を整えたいと考えている行政の方や、子どもたちが受けるプログラミング教育に興味関心のある保護者の方々にもお勧めの一冊である。

（愛知教育大学教授・高橋美由紀）